## すっぴんの会　子どもも保護者もよい交流

　1月20日（土）に「平成29年度　すっぴんの会（吃音のある子と保護者の交流会）」が開催されました。会場のいわて県民情報交流センター「アイーナ」には、県内各地のことばの教室や幼児教室から、子ども14名・保護者14名・先輩2名・先輩の保護者1名・先生14名・親の会2名・言友会1名　合計49名が集まり交流しました。
　子どもたちがレクリエーションを楽しんでいる間、保護者は、3つのグループに分かれ、日頃、かかえている悩みを語り、思いを共感したり、新しい見方や考え方を聞いたりすることができました。先輩のお母さんや、言友会の方の話も大変参考になり、短い時間でしたが子どもたち、保護者とも有意義な時を過ごすことができました。
　この会は今年で17回目となります。遠くから参加してくださる親子もあります。吃音へのよりよい理解への一助となり、子どもたちの笑顔が広がることを願い、また来年も開催いたします。

はじまりの会は少々緊張気味　保護者は3つのグループに分かれ思いを語り合う　子どもたちも自己紹介

## 平成29年度　やまびこ会「学習会」 開催

　12月23日（土）に「平成29年度　やまびこ会（岩手県難聴者の会）」が開催されました。会場の岩手県立視聴覚障がい情報センターに、やまびこ会会員と県内のきこえの教室の児童・生徒と保護者が集まり、講演会と交流会を行いました。
　講演は、盛岡医療福祉専門学校　心理福祉学科教員　畠山　修 氏により「私のライフストーリー　～聞こえない人生は素晴らしい～」と題した話をお聞きしました。畠山先生からは、これまでの経験の中で悩んだことや苦労されたこと、悲しみや喜び、そして出会った先生方のこと等を大変分かりやすく話していただきました。参加した方全員が、先生の話に引き込まれました。

　その後、2つのグループに分かれ、困っていることや悩みについて交流しました。
　やまびこ会は、今年度で35周年を迎えました。会員の交流の場、現役の「きこえの教室」の児童・生徒，保護者とのつながりの場となり、これからも続いていくことを願っています。

パソコン要約筆記による情報保障を行いました　講演会　交流会

## おめでとうございます
## NPO全国ことばを育む会　障害者関係功労者表彰受賞

　平成29年度障がい者週間関係表彰式が行われ、NPO法人全国ことばを育む会が内閣総理大臣表彰を授与されました。
　これは「平成29年度障害者週間の取り組みの一環として、自立して社会活動に参加し、広く他に範を示している障害者又は障害者の福祉向上に関し顕著な功績のあった個人若しくは団体を顕彰するもの」で、全国特別支援教育推進連盟より推薦を受け、文部科学省において精査を受け5年に一度の団体表彰授与となったようです。
　岩手県親の会としても大変喜ばしいことで、今後活動する上で、とても励みになる嬉しいお知らせでした。

表彰状

記念の盾

## 旧大渡小学校～釜石小学校　ことばの教室開設50周年記念式典　盛大に開催

　平成29年11月22日（水）に、釜石市立釜石小学校体育館において、ことばの教室50周年記念式典が開催されました。旧大渡小学校時代から岩手県における「ことばの教室」教育の先駆けとしての役割を果たしてきた歴史を振り返り、さらなる充実が誓われました。

　式典には、野田市長を初め、多くの関係者のご臨席のもと約130人が出席されました。教室開設、運営に尽力された5人1団体に感謝状が贈呈され、開設から現在までの歩みを振り返りました。50年の振り返りでは、初代担任の菊池義勝先生、初代親の会会長夫人の落合ハルさん、県親の会前会長の佐々木信孝さんの対談を行いました。また、同校の児童による虎舞や当時の大渡小学校校歌と釜石小学校校歌も披露されました。

　これまでの歩みをまとめた記念誌が作成され、県内の支部事務局へも配布していただきました。

釜石小学校体育館にて開催　初代親の会会長夫人へ感謝状贈呈　児童による「虎舞」披露　50年の振り返りの対談

## NPO法人全国ことばを育む親の会東北ブロック代表者会議

平成29年11月4日（土）・5日（日）に、青森県八戸市　グランドサンピア八戸に、東北ブロック内の青森・岩手・宮城・福島の親の会の役員が集い、代表者会議が開催されました。本県からは、主濱友子 会長、小原俊彦 事務局長、ブロック顧問の菊池義勝　先生が出席しました。
「平成28年度決算報告」「各県の活動状況、行政機関等への要望内容、課題等」「次期ブロック長とブロック会議」等についての意見交換を行いました。その後、青森県教育庁三八教育事務所　教育支援アドバイザー　千葉隆史氏を講師に「子ども一人一人の特性に応じた子育て支援」と題した講演を聴き，研修が行われました。

会議では，次期ブロック長に本県の主濱友子会長が選任され、平成30年10月下旬に本県で次回ブロック会議を開催することが決定されました。

## H29年度　すっぴんの会（吃音のある子と保護者の交流会）　参加者募集

毎年恒例の「すっぴんの会」の参加者を募集しています。参加を希望する方は、岩手県内のお近くの「ことばの教室」へお申し込みください。なお、ご不明な点がありましたら、事務局まで（TEL/FAX019-624-0457）へお問い合わせください。

＜日　　時＞　平成30年1月20日（土）10:00～12:00　（受付開始9:30）
＜会　　場＞　いわて県民情報交流センター　アイーナ　6階　世代間交流室
＜参 加 者＞　吃音がある子とその保護者（現在または、以前に「ことばの教室」に通級や相談した）
＜内　　容＞　子ども・・・レクリエーション　　親・・・語り合い
＜参 加 費＞　1人　100円　当日受付で集金
＜持 ち 物＞　はきもの（子どもは中ズック）
＜申込締切＞ 12月18日（月）

今回も、子どもたちや保護者の笑顔があふれることを願っています。

## 第３４回　幼児期の言語教育研修講座

平成29年8月26日（土）に、県内の幼稚園・保育園（所）・こども園の先生や保健師，学校関係者等のための「幼児期の言語教育研修講座」をいわて県民情報交流センター「アイーナ」で開催しました。参加者は104名でした。
講演では「こころとことばを育む」として、学校法人内丸学園　幼保連携型認定こども園　盛岡幼稚園　園長　坂本信行　氏に、幼稚園・保育園（所）・こども園の先生のかかわり方についてお話ししていただきました。
講座Aでは、「幼児期のことばの発達」として盛岡市立杜陵小学校　指導教諭　森田　巧　先生に、ことばの発達について詳しくお話ししていただきました。選択講座は3つの課題に分かれて研修し、その講座と講師は、
「ことばに関する課題」 講師　岩手県立総合教育センター　研修指導主事　平　浩一　先生、
「子どもの行動」 講師　岩手県自閉症協会　会長　熊本葉一　先生、
「幼児教室」　講師　一関市教育委員会　幼児ことばの教室　指導員　佐々木奈良美　先生でした。
簡単なことばの検査の方法や、発達障害の子どもの理解、幼児期の心を育てるかかわり方等についての研修でした。また、現在困っていることや悩み事についての相談にも、講座終了後に応じていただきました。
参加者のニーズが高い研修会であることが伺われました。

ご来賓の方々

講演

全体講座A

講座B

講座C

熱心な参加者の皆さん

講座D

## ＮＰＯ法人全国ことばを育む会 全国大会四国大会in香川大会開催される

8月5日（土）～6日（日）に、四国の玄関口香川県高松市において「人と人とがつながる支援」というテーマで、全国大会が開催されました。ご来賓として、文科省　特別支援教育調査官庄司美千代　様、香川県知事　浜田恵造　様、全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会会長　寺崎晶子　様　等が出席されました。本県からは主濱会長と下村事務局次長が参加、全国各地から瀬戸大橋を渡りたくさんの参加者が集いました。
講演会では、東京大学　先端科学技術研究センター　人間支援工学分野　中邑賢龍　教授による「ユニークな子どもたちの学び方・働き方」という、AI（人工知能）時代に生きる子どもたちや大人の個性的な学び方や働き方についての話を聞くことができました。身の周りのテクノロジーを使って、できることを増やして自分らしく生きる等、新しい特別支援の考え方でした。
分科会は12あり、その中で発達障害が年齢段階別に6つあったことが特徴的でした。また、地元の特別支援学校の先生方とことばの教室の先生方が一緒になって大会を運営する熱心な姿を拝見し、心が洗われた充実した2日間を過ごすことができました。

# 平成29年度　県親の会総会

一関大会に引き続き、一関文化センターにおいて各支部代議員出席のもと，平成２９年県親の会総会が行われました。会長及び岩手のことばを語る会会長の挨拶の後，事務局より平成２８年度の活動経過報告・決算報告ならびに会計監査報告があり，承認後，平成２９年度の活動方針・事業計画・予算案が提案され可決されました。今年度は役員改選の年にあたり，選考委員を選び，話し合った結果，選考委員会の提案通りに可決されました。以下，新役員を紹介します。

会　長　　主濱　友子（再任），
副会長　　岡﨑　清弘（再任）林　　義明（前事務局長）小崎　真崎（再任）櫻岡　正久（再任）
事務局長　　小原 俊彦（前副会長）
会計監事　　橋本　政樹（再任）　田口　好子（再任）
事務局次長　下村　絹子，堺　秋子

相談役　　菊池　義勝
名誉顧問　　臼澤　弘泰
顧　問　　佐々木信孝
参　与　　小山田　實，津川　哲二，森田　　巧，山崎　伸一，杉本　光生

今年度の各支部の親の会活動もどうぞよろしくお願いいたします。

主濱会長の挨拶

議長・書記

代議員のみなさん

新役員

# 岩手県ことばを育む親の会大会　一関大会
## ～新たなステップをめざし　今　親の会活動を考えよう～

６月２４日（土）一関文化センターにおいて，県親の会大会一関大会が終了いたしました。

県内各支部，ご来賓，実行委員会を合わせて３００名を超す参加者により盛大に開催されました。

１　開会行事
大会は，主催者である県親の会 主濱会長，一関支部 村上実行委員長の挨拶のあと、15名の方々に感謝状と表彰状をお贈りしました。受賞者を代表して、研究会の前会長　深田 好昭 様へ感謝状を、雫石支部の千葉　様へ表彰状を授与しました。また、今回は、県親の会50周年記念大会の実行委員長　臼澤 弘泰様と大会長の佐々木信孝　様へ特別表彰をお贈りしました。 祝辞は、一関市長　勝部　修 様、平泉町長　青木 幸保様、岩手県教育委員会　学校教育課首席指導主事兼総括課長　中島　新　様、岩手県難聴言語障がい教育研究会 会長 外山　敏　様　からいただきました。 今大会を通じて、多くの方々の連携が更に深まったことを感じることができる大会となりました。

村上実行委員長の挨拶

主濱会長より感謝状の贈呈

ご来賓の皆様

司会者の千葉さん

２　講演
クラウンろっく　松谷　俊克　氏　による「クラウン（道化師）マインドとその活動から見える子育てのヒント」と題したユニークで心がホッとし、肩の力がスーッと抜けるようなお話を聞くことができました。子育てには、親の笑顔が大事ということばが印象的でした。

３　学習会
パネルディスカッション「これまでの歩みから　今　親の会活動を考える」
～ＬＤ等通級指導教室の開設と親の会活動～
パネリストは、親の会に以前係わった役員や現在の支部長、ＬＤ等通級指導教室に係わった先生でした。
児童生徒の多様化と一人一人のニーズにあった指導ができる柔軟な教室運営、親の会活動の多様化に向け、 これまで築いてきた歴史を大切にしつつ新たな課題解決への方向性が期待される内容でした。

４　閉会行事

　大会宣言は、県親の会　岡﨑副会長により、声高らかに読み上げられ、この大会の成功と参会者のこれからの親の会活動への思いを示唆するものとなりました。